

## 6月27日からの大雨における 巖木ダム防災操作の効果について

巖木ダムでは、6月27日より防災操作を行いました。

ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約9割低減しました。

これにより、ダム下流の中島橋水位観測地点において、河川の水位を約120センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

- ・ 巖木ダムでは、27日6時57分に最大111.29 m<sup>3</sup>/sの流入があり、その時点で100.82 m<sup>3</sup>/sを貯留して10.47 m<sup>3</sup>/sを流し、下流河川の増水を緩和しました。
- ・ 巖木ダム流域平均の総雨量：152.8 mm（27日3時～28日10時）
- ・ 巖木ダム流域平均の最大1時間雨量：54.3 mm（27日6時）

※水位観測地点所在地

佐賀県唐津市巖木町大字中島 地先

※流域平均：ダム流域内の4観測地点（星領・広川・天川・巖木）平均

## 【厳木ダムの防災操作】

<流入量>

ダムへ流れてきた水量  
最大 111.29 立方メートル/秒  
(6月27日6時57分時点)

<放流量>

最大流入時点で  
下流の河川へ流した水量  
10.47 立方メートル/秒  
(6月27日6時57分時点)

今回の大雨で貯めた水量 約30万立方メートル

防災操作後の貯水位 200.53m

防災操作前の貯水位 198.52m

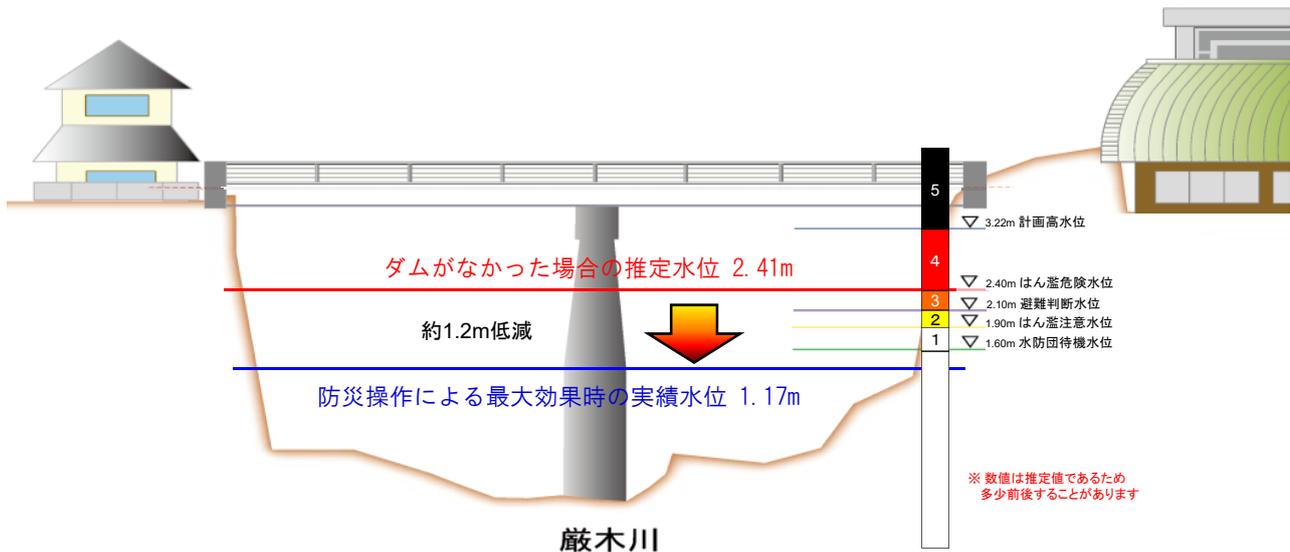
約2.0mダムに貯まりました。

水道用水などに利用するために常時貯めている水量

ダムへ流れてきた最大  
水量時点で約9割低減  
させて流しました。

## 【厳木ダムにおける下流河川水位低減効果】

なかしまばし  
中島橋水位観測所地点水位比較図



※ ダムがなかった場合の河川推定水位やその低減量等、本発表における数値は速報値です。  
今後、最終的に整理される数値とは異なる場合があります。